

保護者の皆様

令和6年10月11日

川崎市立宮内小学校
校長 陸田 由喜子

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

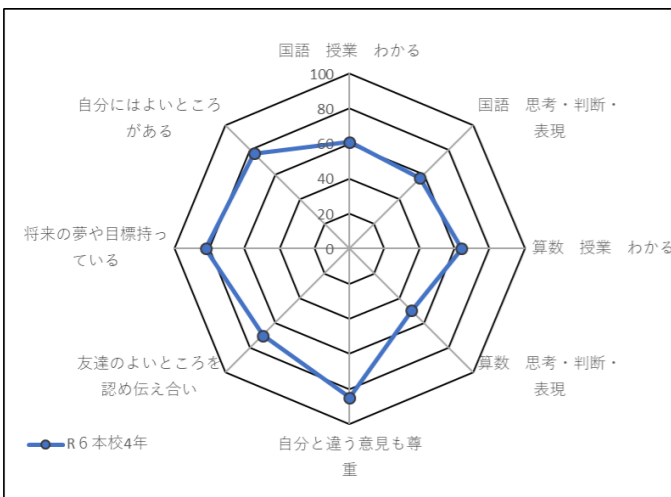
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月10日（水）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標

「心豊かにたくましく生きていく人間の育成」

- おおらかに 一人ひとりが思いや願いを表現し、学び合う
- たくましく 自ら課題をもち、すすんで取り組む
- なごやかに 互いに認め合い、協力する

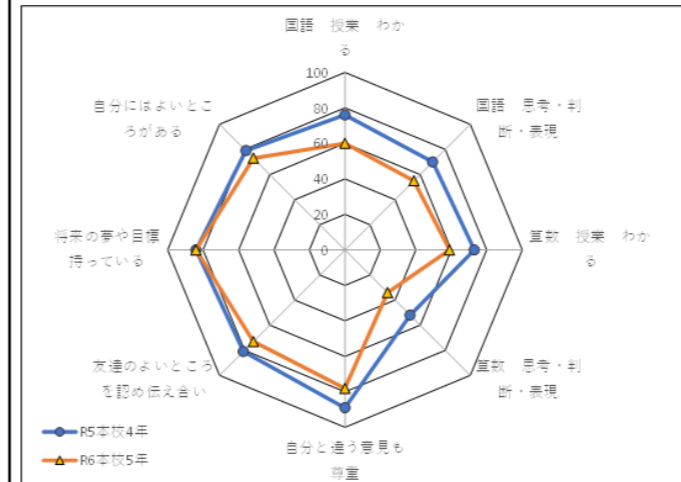
令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生



川崎市学習状況調査より (全体は他都市含む)	国語 授業 わかる	算数 思考・判断・表現
R6本校4年	61	50
R6全体4年	67	58

- ・「国算の授業がわかる」は61ポイントでした。授業では自分の考えを整理する時間や課題に対してまとめる時間を大切にして、児童の取組を認める支援を行いながら、児童が「できた実感」を得られるようにします。全体と同様を目指します。
- ・「算数 思考・判断・表現」は50ポイントです。学校教育目標を踏まえ、学んだことを生かして筋道を立てて考え、自分と友達の考えの相違点を見つける活動を重視し、次年度は全体と同等を目指します。
- ・「友達の良いところやがんばりを認めて伝え合っている」は70ポイントです。学校教育目標「互いに認め合い、協力する」を踏まえ、児童が友達と関わり合いながら授業や行事等に取り組むことを大切にしつつ、自分のがんばりや、友達の良かったところを伝え合う活動を重視していきます。次年度は5ポイントアップを目指します。

令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生

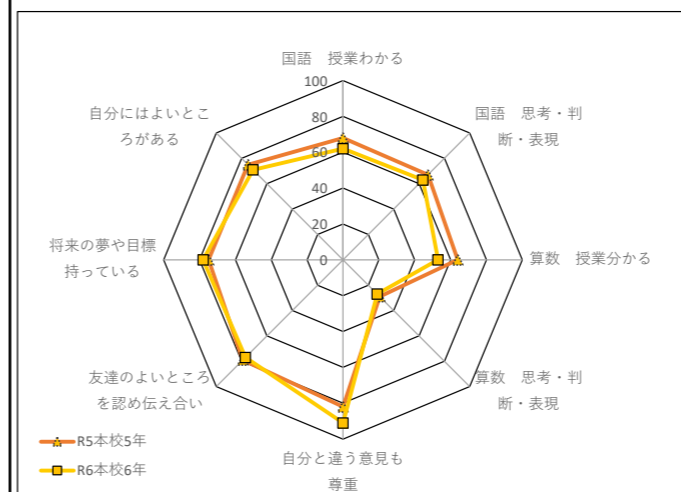


川崎市学習状況調査より (全体は他都市含む)	国語 授業 わかる	算数 思考・判断・表現
R6本校5年	60	34
R6全体5年	62	38

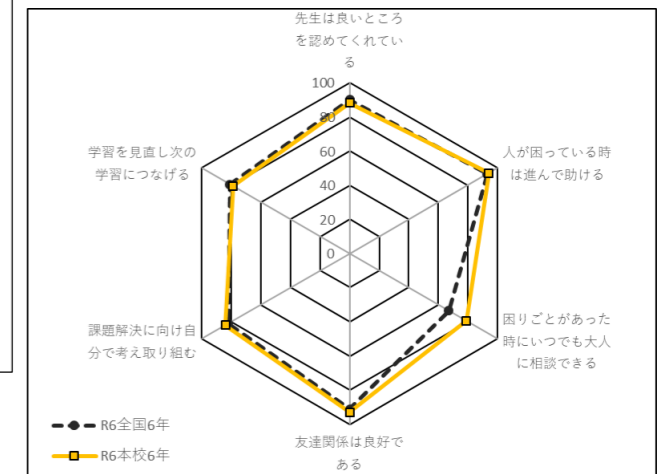
- ・「国語の授業がわかる」は60ポイントで全体とほぼ同じでした。表現力の向上を目指して、グループでの話し合いや発表の活動をさらに重視していきます。次年度は全体以上を目指します。
- ・「算数 思考・判断・表現」は、学んだことを生かして考えるための支援や身近な生活場面と算数をつなげて考える活動を重視していきます。また合わせて基礎基本の定着を図る活動にも力を入れ次年度は全体以上を目指します。
- ・「友達の良いところやがんばりを認め伝え合っている」は73ポイントで全体と同様でした。5年から委員会活動も始まりましたので、学校全体に関わる取組でも、これまで同様によいところやがんばりを伝え合う活動を大切にします。自分も他者とのかかわりも大切にしていける活動を重視し「自分と違う意見も尊重する」と合わせて次年度は5ポイントアップを目指します。

令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生

全国学力・学習状況調査 6年生



川崎市学習状況調査より (全体は他都市含む)	国語 授業 わかる	算数 思考・判断・表現
R6本校6年	62	27
R6全体6年	62	38



- ・「国語の授業がわかる」は昨年度に比べ着実に伸ばすことができました。今後も5年次の取組を継続します。全国調査「国語 読むこと」はほぼ全国平均と同等でした。読書活動を充実させるとともに、言葉の意味や表現の仕方に着目して文章を丁寧に読み取り、話し合う活動を重視します。
- ・「算数 思考・判断・表現」は、全体を下回っているものの昨年度より全体との差が縮まりました。全国調査「算数 知識・技能」も全国平均と同じでした。全国調査「学習を見直し次につなげる」の数値が全国平均を下回っているため、算数のこれまでの取組を継続していくとともに、自分の学習を振り返って、よかったところを確認したり、次に生かすことを考えたりする活動を重視します。
- ・「地域社会よくするためにすべきこと考える」は89ポイントと全国平均を上回っています。日々の授業や委員会活動、実行委員活動等で、様々な意見のよさを認めて、よりよい考えを導き出す活動をしてきたことを地域にも広げていくことができたと考えています。今後も学校教育目標で掲げている「自ら課題をもち、すすんで取り組む」力の育成を目指します。